

ミニレター  
**あぜみち通信**

\* \* \* \* \*

平成19年2月1日

74号

編集・発行：愛知県農業会議

◎ あっという間に過ぎ去った感じの一月でした。これからは年度末に向けて何かと  
気ぜわしくなりますが、心落ち着けて本質を見誤らないようにしたいものです。

◎ **愛知県漬物振興祭**

愛知県漬物協会（会長鈴木礼治氏）の主催にて、1月6日（土）熱田神宮において開催されたこの振興祭は、毎年漬け物を奉納し商売繁盛家内安全を祈願するお祭り  
であります。神楽殿において厳かに執り行われる祈願祭と神宮会館に場所を移し  
ての式典があります。

ところで、皆さん、漬け物の神様はどこにあるのかご存じですか、海部郡甚目寺  
町にあります。「萱津神社」（かやつじんじゃ）と申します。

日本武尊が大変喜んで召し上がったのがきっかけで、漬け物の神社になったと伝  
えられています。

◎ **全国農業新聞を読んで農政に強くなる**

今あなたのすぐそばに全国農業新聞が眠っていませんか、起こしてやって下さい  
農業委員会の職員の一部ひとりが必要な情報を吸収し、地域の農業者との対話に活  
かしていただければこんなにうれしいことはありません。

全国農業新聞は週刊紙でありますから、その内容は一週間の出来事をコンパクト  
にまとめていますので、この記事を活用されると農業者や上役から「なかなかや  
る」との評価を受けることとなります。どうか全国農業新聞を活用して下さい。

◎ **常任会議員会議（1月）の審議状況**

1月15日開催された常任会議員会議では、知事諮問案件として農地法第4条  
に基づく転用事案 49件 24,852平方メートル、第5条に基づく転用事案366件 357,895平  
方メートル、が審議され、いずれも原案どおり許可することを相当と認め、答申しました。

この常任会議では、全国農業新聞の1月1日と1月12日号を使って、来年度予  
算と規制改革・民間開放推進会議の内容を中心に解説しました。

農業会議事務局では毎月の常任会議員会議において「全国農業新聞」を中心に農  
政解説を行っています。

貴委員会においても、是非あなたが解説をしてあげてください、良い勉強となり  
ます。

## ◎ 平成18年度女性農業委員特別研修会開催

1月17日アイリス愛知において開催されたこの研修会は講演と自由討議で大変盛り上がった研修となりました。

講演では岐阜女子大学家政学部健康栄養科 教授 小川宣子先生が、「食農教育とそれに係わる女性農業者の役割」と題して非常に有意義な内容と説得力のある話術で会場の受講者らは真剣に聞き入っていました。

今や食農教育はどここの組織でも勉強会を開いていますが、女性農業委員の人達は実践している方も多く、熱心な質問が多く出されました。

また、農業会議常任会議員の荻野紀子さん（新城市農業委員）と石川政子さん（安城市農業委員）のご両人から自分の活動事例について報告がありました。荻野さんは菜の花づくりと遊休農地対策を中心に、石川さんは紙芝居による食農教育や劇団「おとめ座」を中心とする家族経営協定の推進を説明されました。

バズセッション（課題を決めて小グループによるフリートーキング）では農業委員会の広報活動に力を入れていきたいとか、若い女性に農業への参加を呼びかけネットワーク化するとか、遊休農地を団塊世代と共に耕作していくとか、地元農産物の消費拡大に取り組む（地産地消）等の意見が各グループから出されました。

全体的には女性農業委員は勉強家であること、農業委員会活動を地域住民に見えるようにすることについて意見交換がされました。

女性農業委員の各位が健康に十分留意され、益々ご発展されることを心から祈念いたします。

## ◎ 名古屋大学と農業総合試験場が研究協力に関する協定を結ぶ

1月19日名古屋大学大学院生命農学研究科と愛知県農業総合試験場は人材と資源を相互に活用するため協定を結びました。

協定は①最新科学技術に関する情報交換

②共同研究等の実施

③研究者及び研究員の交流と人材育成

④研究資源の相互利用

の4点について締結されました。

今後一層愛知県の農業者のための研究開発が進むことが期待されます。

## ◎ 農とくらしの研究発表大会2007

1月23日岡崎市の県立農業大学校で開催されたこの大会は、農村輝きネット・あいちの会員の人達がそれぞれの地域において活動された内容を「研究発表会」の場で、より多くの人達と相互交流を図るため開催されました。

13グループから応募があり、1次審査として書類審査が行われ、この大会（第2次選考審査）へは4グループが駒を進めました。

宇治グループ（津島市）足助グループ（豊田市）農村輝きネット・したら 農村輝きネット・新城の各グループが工夫を凝らして自分たちの活動の成果を伝えようと努力されていました。

結果的には宇治グループが1位となり愛知県知事賞を獲得されましたが、各グループともに見事なチームワークと、工夫を凝らした内容の濃い活動を進めており、

審査員の皆様が順位を付けるのは大変難しいことと思いました。

愛知県農業会議会長賞は見事に足助グループが受賞されました。

各グループの活動内容は ①食育に関する活動 ②地域食材の活用に関する活動  
③地域美化に関する活動の3点に絞られると思います。

農業委員会関係者の皆さん、これらの活動と協力することによって農業委員会活動の活性化を図ろうではありませんか。

### ◎ 農林水産省吉田審議官来県

1月22日県庁内会議室において「新農政キャラバン」にて吉田審議官が来県され、小出県農林水産部長さん始め幹部職員の方々及び県農協中央会、農業会議も参加して、新農政に関する意見交換を行いました。

吉田審議官は担い手確保のための認定農業者の掘り起こしと集落営農の重要性、農地・水・環境保全向上対策の積極的な推進について、各機関団体が総力で取り組んで欲しいと申されました。

### ◎ 農業委員会における農地基本台帳電子化について

農業会議ではこのほど、農業委員会の農地基本台帳電子化取り組み状況について調査し、その結果を表1のとおりまとめました。

表1 農地基本台帳の電子化について (問1)

問1	回答数	構成比(%)
1 電子化済み(農業委員会にパソコン有り)	43	68.3
2 電子化済み(パッチ処理)	8	12.7
4 電子化の検討中(取組み中を含む)	8	12.7
5 電子化の意向なし	4	6.3
合計	63	100.0

読者の皆様ご存じのとおり、農地基本台帳は各種施策の推進に活用されており、精度の高い農地基本台帳が要求される時代となっています。

現在実施している新農政の推進にも欠くことの出来ない台帳であることはすでにご承知のことと存じます。未整備の農業委員会にあっては、早急に検討されることをお願いします。

### ◎ 平成19年度農業委員会関係予算に関するモニタリングについて

12月24日政府は来年度予算について閣議決定をしました。前年比4.0%増の総額8兆9,088億円と2年ぶりの増額となりました。

農林予算は、対前年比96.2%の2兆6,716億円となっています。

農業委員会交付金は47億7,617万9千円で、前年度と同額となりました。

ここで問題になりますのが、平成17年度・平成18年度に税源移譲されました46億円の確保であります。

すでにご存じのとおり平成19年度から住民税に税源移譲分を上乗せすることとなっていますので、農業委員会への交付金についても従来通り市町村財政部局が予算計上するよう働きかけることが重要です。

また農業委員会長さんは財政部局へのモニタリングが必要ですのでよろしくお願いします。

◎ **ニンジン使い新商品の開発**

愛知県担い手育成総合支援協議会（事務局 農業会議）ではニンジンを加工して付加価値や保存性を高めて売り出すきっかけを作り、農家の経営安定化につなげてもらおうと碧南市や安城市の農家の女性30人と1月10日碧南市のあおいパークにおいて県認定の（豊かな食と農の伝道者）杉浦千秋さん（碧南市在住）を講師として、ニンジンを使った漬け物、ドレッシング、ソフトクリームの3種類の調理に挑戦し、できあがった料理を試食し味を確かめ合っていました。

◎ **愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）**

田原市 藤井保高 さん・ 幸 さん 1月7日 挙式

田原市 鈴木浩之 さん・美恵 さん 1月7日 挙式

碧南市 磯貝 優 さん・まゆみ さん 1月21日 挙式

ご結婚おめでとうございます、一層のご活躍とご多幸を祈ります。

◎ **今後の主な行事予定**

- 2月 1日（木）愛知県開発審査会（愛知県議会議事堂）
- 2月 2日（金）農地問題に関する有識者懇談会（KKRホテル名古屋）
- 2月5日～9日 会計実地検査
- 2月 6日（火）農業振興基金評議員会（愛知県農林会館）
- 2月 8日（木）地産地消トークIN名古屋（レセプションハウス通信会館）
- 2月 9日（金）都道府県農業会議事務局長会議（参議院議員会館）
- 2月14日（水）愛知県農業委員会事務研究会研修会（愛知県水産会館）
- 2月15日（木）男女共同参画推進大会（愛知県女性会館）
- 2月16日（金）常任会議員会議（白壁庁舎）
- 2月20日（火）経営構造対策推進協議会（白壁庁舎）
- 2月27日（火）農地基本台帳及び農地地図情報システム活用検討会（白壁庁舎）
- 2月28日（水）第3回全国農業新聞重点普及推進会議（碧南市役所）

農業会議の総会は3月26日（月）を予定していますのでよろしくお願ひします。



豊かな食と農をめざす

全国 農業 図書

あなたも読んで「全国農業新聞」・私の必携「全国農業図書」